

市民力かわら版

第22号

平成23年3月15日
編集/市民力かわら版編集委員会
発行/矢板市秘書政策室
電話：0287-43-1112
ファクス：0287-43-2292
Eメール：
yaita@city.yaita.tochigi.jp



道の駅やいたに市民力パワーを！ 活動を期待される市民観光ボランティア

道の駅オーブンが目前に迫ってきました。この道の駅を訪れた方に、矢板の良いところを紹介するのが、「矢板ふるさとガイド協議会」に所属するボランティアの皆さん。その活動に注目が集まっています。
会長の高野茂さんにお話を伺いました。

●「矢板ふるさとガイド協議会」って？

平成二十年度に、市が主催したボランティア講座の参加者が「矢板市の活性化のために、地域資源を活用して、矢板市を紹介しよう！」と発足しました。翌年の講座に新たに参加した十人を加え、四十年代から七十代まで、現在会員は十八人（他に講師が四人）です。

講座では、矢板の歴史的文化財や史跡を主に学び、来客の多い八方ヶ原にも行くなど、浅くは知っていたことを、あらためて深く知ることによって再認識することが多かったですね。特に、塩谷朝業については、

名前は知っていましたが、鎌倉時代の武士で歌人で有力な御家人で、源実朝とも親しかったということなど深く知れば知るほど、誇らしい気持ちになりました。

ほかにも山縣有朋や矢板武などの偉人がいたことは矢板の誇りになることだし、外から矢板に来る人だけでなく、矢板に住んでいる人にも、もっと知って欲しいと思います。

●どんな活動を？

現在、毎月一回、第三火曜



駅からハイキングのお客様に御前原城跡で説明

日の九時から十二時まで、学習会を開いています。二十一年度には七カ所（木幡神社・御前原城跡・川崎城跡・寺山観音寺・荒井家住宅・矢板武記念館・山縣有朋記念館）について解説マニュアルを作りました。

これは、人によって得手不得手があるので、最低これだけは押さえておこうという部分をしっかりとさせ、人によってばらつかないようにしようということなんです。このマニュアル以上のことはその本人に任せることにしています。

また、二十二年度には、矢板市内の観光コースを作りました。道の駅を起点として、道の駅に帰ってくるようにしてあります。大きく分けて
①八方ヶ原コース
②県民の森コース
③文化財・史跡を中心とするコース
の三つですが、例えば、寺山



川崎城跡から市内を一望

観音寺に行く場合には「近くには荒井家住宅もありますし、春にはりんごの花も、寺山ダムもありますよ」と、矢板は自然が素晴らしいので、景観を楽しんでもらうことも組み込んで紹介したいと思っています。

すべての観光資源を頭の中に入れておいて、その時期が一番良いものを提供していくのが仕事だと思っています。

●大いに利用してください

「ふるさとガイド」の案内がつくことで、より深く矢板の良さを知ることができると思っています。商工業観光課に申込用紙がありますので大いに利用していただければと思います。

●道の駅では？

着々と道の駅オーブンに向けて準備を進めてきました。とりあえず、四月・五月は土日・祝日の十時から十四時を目安に駐在して道路・観光をメインに案内をしていこうと考えていますが、六月以降はこの状況を見てから判断しようと思っています。